地域ぐるみで行われる道徳教育は…

黒埼町 心の教育フォーラムを開く

十一月十五日(火)、黒埼中学校で「心の教育フォーラム」が開催されました。これは、地域ぐるみで道徳教育の振興をはかり、心豊かな子供を育てる事業で全町を対象に平成七年三月三十一日まで実施されます。当日は、中学の道徳授業の公開や小・中学生の代表による奉仕体験の発表、講演を行いました。

道徳授業公開は黒埼中学校の全クラスで行われました。これは地域ぐるみで道徳教育の振興をはかるためには、まず学校の道徳授業に関心を持ってもらおうと行われたものです。各クラスの生徒は、家族愛などをテーマにグループで話し合ったり感想文を書いたりしました。道徳授業を参観した父兄は「道徳授業を初めて見て感動しました」「もっと多くの父兄の方に見てもらいたい」などの感想を述べていました。

このあと体育館で小中学校の児童生徒の代表や手話の会の方の奉仕体験発表が行われ、そのあと、片野二郎さんの「この親、この子」と題して家庭における教育はどうあるべきかについての講演が行われました。これらを聞きながら、参加者は地域ぐるみでの道徳教育のあり方について熱心に考えていました。

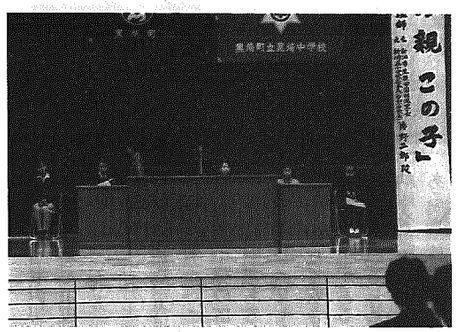

写真　上、道徳授業公開。1～3年までの各クラスで公開されたが、1年8組は「遠足のおやつは、なぜ500円なのか」をテーマに話し合った　中、この事業で取り組んだ奉仕活動の発表が行われた　下、講演会。元新潟市生涯学習推進室長の片野二郎さんが約1時間講演した

会場風景。中学校の父兄や各小中学校の関係者が会場に詰めかけた

須磨俊松黒埼町心の教育フォーラム推進会議会長が開会のあいさつを

当日会場の壁（入口）には、各学校で取り組んできた奉仕活動を載せた壁新聞がはられていた

講演会(要旨)

この親、この子　片野二郎(元新潟市生涯学習推進室長)

最近は、新聞などを見ると悪い子供の事が多く書かれています。いじめや万引きなど……。しかし、身のまわりの子供たちをよく見てほしいのです。いい子が沢山いるでしょう。その子がどう育てられたのか、考えてみましょう。これから私の人生で忘れられない親子の事をお話します。

その人は魚屋で、仮にNさんとしましょう。Nさんには奥さんと三人の子供がいました。ある日Nさんは用事に子供は友達の家に遊びに行くため、一緒にバスに乗りました。私もそのバスに乗ったのですが、子供が先の停留所で降りた。Nさんは運転手さんに何か言って、子供のところへいき子供と喋っている。そのうちに子供の頭に一つゲンコを落とした。私は事情がわからないので「なんて乱暴な」と思ったが、あとで聞いてみると、彼はこう言った。「私は滅多に子供は叩きませんが、今見ていたらバスの前を横切り向こうに行こうとしていた。私は若い頃にバスの前を横切って可哀相な事になった子供をみました。普段から注意するように言っていましたが、やろうとした時に注意しなければ駄目でしょう」と言う。彼の、自分の体験を通して子供に「おまえを守れるのは、おまえだ」という交通指導に正直頭が下がりました。

Nさんの長女が高校受験の時に、大変残念な事ですが、奥さんが亡くなられた。Nさんは、お医者さんから、もうだめだという話を聞いて男泣きしましたが、「母ちゃんの最後を皆で見守ろう、母ちゃんの死を子供に見せよう」と最後の三日間を家族で付き添ったそうです。

家庭教育の基本は、親の生きる姿からの教えだと言われています。生きる後ろ姿からの教育をしたNさんに学びたいと思います。

体験発表(要旨)

小林　恵くん（木場小）

木場小学校では、花いっぱい運動に取り組み、校庭には、マリーゴールド、サルビアの花が咲きました。来年からしてみたい夢は、学校に花を並べるだけでなく、公民館やバス停の近くなど地域に飾ることです。

那須野涼子さん（黒鳥小）

私たちの黒鳥小学校では、今年からJRC委員会をつくり、古着、古切手、使用ずみテレホンカード、アルミ缶集めなどの活動をして世界中の恵まれない子供たちなどに役立ってもらえればと思っています。

高橋則昭くん（黒中）

今年度黒中では、奉仕に力をいれ、町社会福祉協議会の行う、一人暮らし老人へのお弁当の宅配サービスの手伝い、地域クリーン作戦などの活動を生徒会で企画実行し、良い経験になりました。

生野光虹さん（板井小）

あいさつ運動に取り組んでいます。これは「あいさつの木」に地域の人達とあいさつをかわすたびに、葉を一枚一枚はります。木は日ごと緑の葉を増やし、ついには綺麗な緑の葉を茂らせました。

高橋博美さん（黒崎町手話サークル）

私たちのサークルは十人で活動しています。手話は聾唖者にとって私たちの話している言葉と同じ。だから多くの人に手話を覚えてもらえれば、この町が聾唖者の住みよい町になるはずです。

田村幸子さん（黒中）

私は、八月十日に、「クリーン作戦」に参加し、地域のごみ拾いをしました。道には空き缶等のごみが多く、住みよい町にするにはこの“作戦”と町を汚す人の意識を変える必要があると思いました。

11月15日(火)黒埼中学校に於いて